

命について考える日（6月）

「いのちのはなし グー チョキ パー」の本の中からグーの部分を読みました。

お母さんのお腹の中で、グーの大きさから少しずつ成長し、赤ちゃんはうまれてきました。そして、みんなを支えている心臓も、グーの大きさなのです。命や体のすばらしさ、生きていることのすばらしさを感じてほしい。

グー。

それは、みんなの命を育てた、お母さんのおなかのふくろの大きさ。

そして、みんなの命を支えている、心臓の大きさ。

グー。

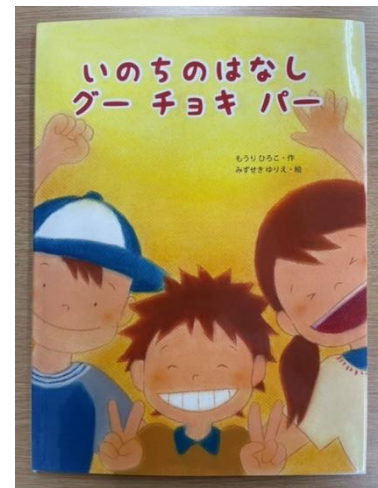
生まれてきたときの赤ちゃんの手。

みんなが頑張っている時の手。

みんなの命を育てたところも グー

いまみんなをささえている命も グー

命があるから、頑張れる。頑張るから、命が輝く！



【あとがきより】

いのちやからだ、生きていることのすばらしさ

自分には秘めている力があることを伝えたい

優しくて、明るくて、天使のような心をもった子どもたち。

そんな子どもたちと過ごした日々はとっても楽しくて、みんなの笑顔からいっぱい元気をもらいました。

でも、みんなを見ていて、「大丈夫、自分の力を信じて、ちょっと勇気を出してごらん」と、つい肩をたたきたくなることがあります。

みんなはすごい力を持っているのに、ちょっぴり遠慮してしまうところがあるのです。

「みんなは、自分では気がついていないかもしれないけど、生まれる前からうーんとがんばれる力をもっているのだよ」など、私といつも話していたことを、ときどき思い出してほしくて生まれた絵本です。

みんなが泣きたくなったとき、ひとりぼっちなんだと寂しくなったとき、周りの友達みんなが偉く思えてしかたないとき、不安になって大きな声が出ないとき…

そんなときに開いてみてほしい。